

04 介護保険事業特別会計

保険事業勘定(保険給付)

歳入決算額 56億2,274万8,182円

歳出決算額 55億7,247万2,490円

介護サービス事業勘定(ケアプラン作成)

歳入歳出決算額 4,533万8,171円

要介護・要支援者が依然として増加

要介護・要支援認定者数は、前年度と比較して145人増の3,352人となっており、認定者の88.7%を後期高齢者が占めています。

保険給付の利用総数は81,608件です。

05 病院事業決算

収益 4億 456万6,755円

費用 2億2,548万1,740円

新病院建設に向け基本設計に取り組む

平成20年度から指定管理者制度を導入し、大村市民病院の経営は指定管理者が行っています。病院事業会計では、一般会計からの繰入金を財源に、病院事業の不良債務解消のために借り入れた公立病院特例債の元利償還金の償還などを行っています。

また、新病院の建設に向け、建築物の出来を左右する重要な業務である基本設計に取り組みました。

06 簡易水道事業特別会計

歳入歳出決算額 2億6,175万3,049円

07 水道事業決算

収益 18億 731万9,063円

費用 17億1,011万5,132円

08 工業用水道事業決算

収益 1億5,742万6,189円

費用 2億 484万8,418円

09 下水道事業決算

収益 25億 356万2,582円

費用 22億2,600万5,356円

10 農業集落排水事業決算

収益・費用 3億8,828万4,773円

水道・下水道事業は昨年同様純利益を確保

水道事業、下水道事業は純利益、工業用水道事業は純損失が生じています。工業用水道事業では、誘致企業支援策として、誘致企業に対し、契約水量の減免等を行っています。

11 モーターボート競走事業決算

収益 561億 970万 379円

費用 569億6,415万8,996円

スタンド棟全面建替えにより総売上額が減少

大村開催分の総売上額は約380億4,900万円で、前年度に比べて約92億2,600万円減少しました。

これは、グレードレースの開催が少なかったことやスタンド棟の全面建替えにより昨年10月から仮設投票所での営業によることが主な要因です。

